

Recruiting Guidebook

Imperial Guard Headquarters



皇宮警察本部

平成から令和へ
連綿と続く皇室を護る。

皇宮警察本部は、「皇室守護」を専門とする唯一の警察組織である。

その歴史は、明治19年、当時の宮内省に「皇宮警察署」が設置されたことから始まる。昭和29年に警察庁の附属機関となり、現在に至っている。

皇室守護を専門とする皇宮警察は、事件や事故を未然に防ぎ、皇室の平穏な日々を確保することを目的としている。その使命を全うするためには、どんな困難にも立ち向かい、高い理想や目標に向かって地道に努力し続けることが大切だ。

皇宮護衛官として採用されると、皇居内にある全寮制の皇宮警察学校に入校。法学や警察実務、皇室に関する教養などを学び、武道や逮捕術等の術科訓練を重ね、護衛警備の第一線で活躍することを目指す。卒業後は、皇室の方々のお住まいがある皇居、赤坂御用地をはじめ皇室用財産である場所や施設を守る『警備』に当たる。勤務経験を積めば、皇室の方々を直近でお護りする『護衛』の任務や、組織運営の基盤を築く『警務部門』の任務にも就く。

皇宮護衛官は、任務を完遂するために、日々、武道や逮捕術、拳銃をはじめとするさまざまな訓練に取り組み技術を磨いている。自バイ、騎馬、スキーなど特殊技能を活かして任務に就くこともできる。

護衛や警備の現場では、皇室の方々の安全を確保しながらも、皇室と国民の親和を妨げてはならない。何者にも負けない強さとその場に応じた立ち居振る舞いが求められるのだ。

皇室を護る。それが、国民から託された皇宮護衛官の使命である。

初志貫徹

赤坂護衛署 警戒係

▶



▶



憧れを
現実に変える

坂下護衛署 警戒係

▶



チームワーク

上皇護衛課 護衛実施担当

全身全霊

吹上護衛署 警防係



▶



信頼と信用

警備第二課 爆発物対策係

▶



技能を
活かす

護衛第一課 機動護衛担当

研鑽を 積む

護衛第一課 機動護衛担当



▶



何事も
挑戦！

赤坂護衛署 警戒係 兼 警務課(音楽隊)

▶



自己研鑽に
努める

吹上護衛署 警戒係

新進気鋭の 人材確保

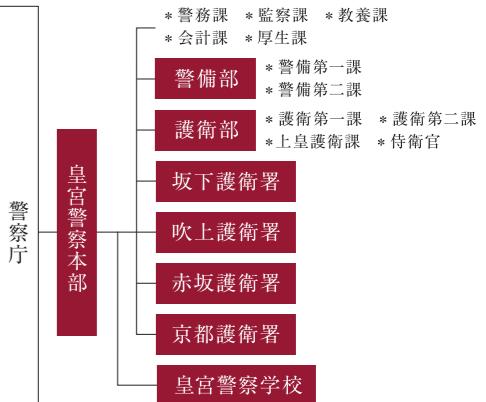
警務課 人事第二係





皇室守護を専門とする、 唯一の警察組織

皇宮警察本部は、天皇皇后両陛下はじめ皇室の方々の護衛と皇居、赤坂御用地などの警備を専門に行う警察組織です。皇宮警察本部の組織は2部10課、4護衛署及び皇宮警察学校によって構成されています。護衛部は天皇皇后両陛下や皇室の方々の護衛を担当しており、警備部と4護衛署が皇居・赤坂御用地・各御用邸・京都御所などの安全を確保するための警備を行っています。



勤務地は主として東京都にある皇居及び赤坂御用地ですが、京都御所や御用邸などを含め、下図のように1都1府4県にあります。



警備

IMPERIAL GUARD HEADQUARTERS
SECURITY

皇居、赤坂御用地、御用邸などの平穏を確保する。

24時間365日の警戒勤務で不審者の侵入を未然に防ぎ

平穏な日々を実現する。



儀仗勤務

皇居正門を護る儀仗勤務。指先までそろえ、洗練された姿勢を保ちつつ、常に周囲の警戒に余念がない。見る者を感嘆させる、息を合わせた交代の儀式も、日ごろの訓練の賜物だ。

皇室守護という絶対使命に立つ

皇居、赤坂御用地、御用邸、京都御所などの最前線で任務に当たり、平穏な日々を確保する。門の前に立ち、外接する道路の通行者、豪の状況、上空の警戒を行いつつ、来訪者や出入車両の確認に当たる。不審者の侵入は絶対に許されない。一方で高圧的な職務執行は、皇室と国民の親和を妨げることにもなりかねない。来訪者の態度、目線、言動などから不審点を見抜く厳正な勤務姿勢を保ちつつ、優しさと温かみのある接遇にも配意。相手や場面に応じた対応が求められる。緊張感の継続、訓練の積み重ね、そして護衛官一人ひとりの強固な使命感が最前線での困難な任務を可能にしている。



特徴的な任務の一つに儀仗勤務がある。儀仗勤務は、儀式の際や皇居正門での勤務に従事する。儀仗勤務の主眼は護衛警備であるが、場所や場面にふさわしい雰囲気を保持して勤務に当たることも大切な使命の一つ。儀礼服を身にまとい、微動だにせず胸を張って勤務する姿は美しい。前方を見据える視線。実際には大きく視野を広げ、周囲の状況に目を光らせている。儀仗勤務の際の立ち居振る舞いや強靭な精神力は、繰り返し行われる訓練によって養われる。交代儀式は、その集大成とも言えるだろう。4人の息がぴったりと合った優美で流れるような動き。これには正門前を訪れた見学者から感嘆の声が漏れるほどだ。

酷寒猛暑の勤務条件にかかわらず皇室守護の最前線に立ち、皇室の平穏な日々を護りぬく。それが、皇宮護衛官の警備の任務だ。



警備

{ IMPERIAL GUARD HEADQUARTERS }
SECURITY

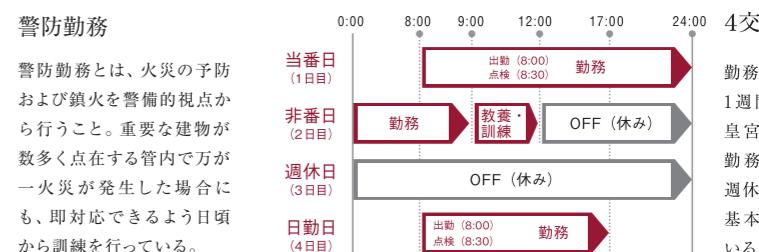
平穏を確保し有事に対応する。

警備の任務では、連携プレーが重要となる。

同じ勤務箇所で一緒に勤務している仲間はもちろんのこと、隣接する勤務箇所とも情報を共有し、協力して不審者の侵入を防ぐ。経験豊富な先輩からの教えは、若手護衛官にとって何よりの教科書。現場でのコミュニケーションが、若手護衛官の心と技を大きく成長させる。

警戒警備は24時間365日の交替制勤務。一瞬たりとも警備に隙を生じさせるわけにはいかない。有事に備えて、柔剣弓の各道による武道

訓練や犯人を制圧するための逮捕術訓練、特別警備隊に所属して行う警備訓練、消防技術を高める警防訓練など、プロとして必要な技術を身につけていく。そして訓練の積み重ねと仲間との連携が、組織の力をより強固なものにするのだ。



警備訓練

都道府県警察でいう機動隊の機能を果たす特別警備隊は、突発事案に対応するために設置された組織。集団警備力を高めるための実戦的訓練で技能の向上に努め、有事に備える。

武道訓練

非番日の午前中には武道訓練に参加。皇居内にある道場「済寧館」で柔道、剣道、弓道の訓練に励む。相手の出方に応じて瞬時に反応しなければならない皇宮護衛官には必須の技能だ。

警察犬訓練

皇宮警察には、皇居や御用邸などにおける不審者や不審物の発見のため、警戒警備犬と御用邸犬が配置されている。警察犬による各所での活動は、犯罪の抑止力にも繋がる。

護衛

IMPERIAL GUARD HEADQUARTERS
ESCORT

皇室の方々をお側でお護りする。

護るために必要な技術を日々の訓練で磨き上げ

何事もない平穏な日々を実現する。



緊急対応訓練

護衛任務はいかなる状況下でも皇室の方々の御身辺の安全を確保する。不審者を察知し、最小限の動きで相手を排除し、場合によっては装備を用いて制圧するための、特殊なスキルが必要になる。

一番近くでお護りする使命と責任

皇宮護衛官のうち、皇室の方々を直近でお護りする者を側衛官という。側衛官は、皇室の方々を一番近くでお護りし、絶対安全を確保しつつ、その場にふさわしい態度で職務に臨まなければならない。そのため、護衛に必要な技術に加え、国際的なマナーや教養を磨くことも求められる。側衛官の使命は、皇室の方々の御身辺の御安泰の確保であり、未然に犯罪を防ぐこと。不審者をいち早く発見し、最小限の動作で相手の機先を制する特殊なスキルが必要だ。場合によっては相手を制圧しなければならないときもある。あらゆる事態を想定し、的確に対応することが側衛官の任務だ。





白バイ訓練

1000cc以上のバイクを安全に操作し、任務の完遂を目指す。護衛の際は、皇室と国民の親和を妨げないことも求められる。機動護衛のプロフェッショナルとして高いスキルを身につけるために、日々厳しい訓練を重ねる。



側車訓練

側車による護衛は、豊富な経験を重ねた者だけに許される特別な任務だ。日ごろからの訓練はもちろん、本番が近づくと、実際のコースと同じ設定で訓練を重ねる。

あらゆる場面に対応できる スキルを身につける。

白バイ隊員は機動護衛の役割を担う。機動護衛とは皇室の方々が地方に出かけになり、お車でご移動の際、白バイで護衛に当たる任務。お車の側に位置して、目的地に到着されるまでの安全を確保する。接近者(車)を素早く察知し、瞬時に判断して事件・事故を未然に防ぐことが使命だ。国賓がご会見や宮中晩餐などの行事のために皇居を訪れる際は、側車と呼ばれるサイドカーで国賓の護衛に当たる。

側衛官は、各国の大公使が信任状捧呈式のため馬車で皇居を訪れる際には、騎馬で護衛に当たる。これらは、国際儀礼上も極めて重要な任務だ。華やかな雰囲気を壊さないよう、気品あふれる態度で護衛を行い、安全を確保する。日々の訓練を積み重ね、本番に向けて技能を磨き続ける。その他にも、スキーをされるときはスキーで、ジョギングをされる場面では走って護衛するなど、場面に応じて

護衛の手法も変化する。そのため、側衛官に求められる能力は多岐にわたる。したがって、白バイや騎馬、スキーなど特殊技能を磨けば、それを活かせるチャンスがあるということ。側衛官は、日々訓練に励み、己の護衛技術の高みを目指す。日々の地道な訓練こそが、護衛の任務遂行の際に実力を發揮することを知っているからだ。大きな使命を果たすために、たゆまぬ努力を惜しまない。



騎馬訓練

信任状捧呈式の際に各国の大公使が乗車した儀装馬車を騎馬で護衛。皇居内に馬場があり、日ごろの訓練に加え、行事の前には隊列を組んで実践的な訓練が行われる。



信任状捧呈式

特命全権大使・公使の信任状捧呈式の護衛も護衛部の任務の一つ。側車や騎馬で護衛し、都心を進む隊列は、見た目も優雅。パレードのような華やかさだ。

警務

IMPERIAL GUARD HEADQUARTERS

POLICE
ADMINISTRATION

万全のバックアップ体制で組織の運営を円滑にする。

組織運営の基盤を築き働きやすい環境づくりに貢献する。



皇宫警察音楽隊

皇室行事を始め全国で演奏活動を行う皇宫警察音楽隊。その活動は年60回に及ぶ。皇居東御苑で開催される「ランチタイムコンサート」は、多くの方々との貴重な交流の機会。お昼のひと時を楽しんで頂いている。

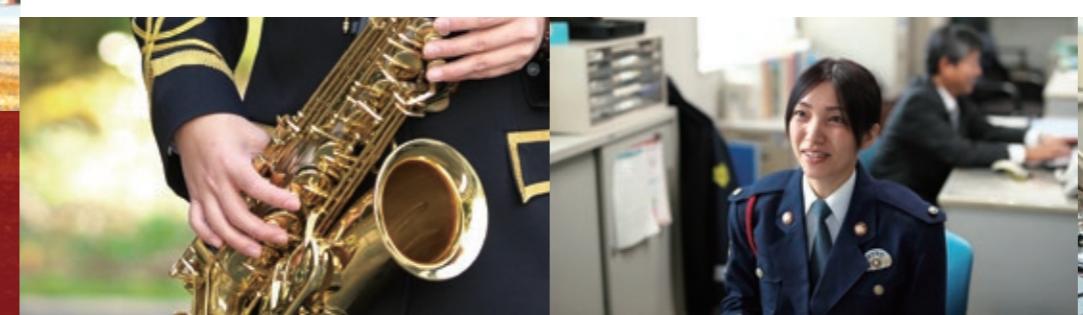


採用募集活動

皇宫警察の魅力をアピールするため、大学や専門学校など、全国各地を訪れ、採用募集活動を行っている。採用募集活動には、リクルーターとして若手職員を積極的に登用し、現場の声を伝えている。

皇宫警察の「これから」をつくる

警務部門には、採用や人事などの組織運営を担う警務課、監察や情報管理を担当する監察課、教養計画や術科訓練を担当する教養課、予算や物品、施設管理を担う会計課、健康管理や福利厚生を担当する厚生課の5つの課がある。皇宫警察の組織全体がうまく機能するようにするのが、警務部門の役割だ。中でも採用業務は、未来の皇宫警察を担う人材を確保する重要な仕事。体力に満ちあふれ、皇室をお護りしたいという信念を持つ若者を採用することで、組織に貢献している。また、警務部門の中には音楽隊が設置されている。園遊会などの皇室行事や、皇宫警察本部主催行事での演奏をはじめ、警察庁主催の式典や各都道府県警察音楽隊の演奏会にも出演するなど、各地で演奏活動を実施。皇室と国民を結ぶ音の架け橋という役割を担いつつ、皇宫警察の広報活動も行っている。



皇宮警察学校

IMPERIAL GUARD HEADQUARTERS
IMPERIAL GUARD SCHOOL

皇宮護衛官に求められる
知識や技術、心構えを習得する。
皇室守護のすべては、ここから始まる。



この学び舎で、文武を得る。チームを知る。

皇宮護衛官として採用されると、全員が皇宮警察学校に入校し、職務に必要な知識や技術、体力、皇宮護衛官としての判断力や行動力を身につける。入校期間は、大卒者が6ヶ月、その他の者は10ヶ月。卒業後は護衛署に配属され、3ヶ月間の現場実習を行う。その後再度皇宮警察学校に入校し、さらにレベルアップを目指す。教育訓練には、「座学」と「術科」のカリキュラムのほか、和歌、書道、華道、茶道といった情操教育や英会話なども行われる。いずれの教養訓練も経験の有無に係わらず、基礎から学ぶことができる。また、皇宮警察では全国警察で唯一消防活動を行うため、消火活動を学ぶ「警防」の授業もある。皇宮護衛官として第一線で活躍するために不可欠な「心・技・体」を養う。皇宮警察学校は全寮制。同期生たちと集団生活を送る。自律、協調、向上心が求められる学校生活は、楽しいことばかりではない。しかしそこには、助け合いながら一緒に切磋琢磨して成長を目指す仲間がいる。同じ釜の飯を食った同期は、卒業後も、つらいことも楽しいことも共有できる貴重な存在となるだろう。そんな同期との絆を深めるためにも、皇宮警察学校での団体生活は欠かせない。先輩たちは、皇宮警察学校での日々はとても充実したものだったと語る。それは、日々成長していく自分を実感できるから。皇室守護のすべてはここから始まる。

1日のタイムスケジュール

6:00	9:00	11:50	12:50	17:10	17:15	23:00
日朝活動	授業	授業	授業	課外		
起床 点呼 朝食 寮から学校へ ホームルーム	1 時限目 授業準備	2 時限目 授業準備	3 時限目 授業準備	4 時限目 授業準備	5 時限目 授業準備	
				授業連絡	課外活動 清掃・指示 夕食・入浴 自主活動	点呼 消灯

年間行事

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月		
4年制大学卒業	入校式	手帳貸与式	拳銃貸与式	校外研修	実務研修	術科検定	卒業試験	京都・奈良研修	卒業式			
高校・短大・専門学校等卒業	入校式	手帳貸与式	拳銃貸与式	校外研修		術科検定	中間試験	京都・奈良研修		実務研修	校外研修	卒業式

先輩からのメッセージ

個性を活かしてキャリアを積む、先輩たちの生き方、働き方。

NO.1



地道に訓練に取り組むことが技能上達につながります。

天皇皇后両陛下の地方行幸啓の際に白バイで護衛する機動護衛担当として勤務。国賓の皇居参内時における側車での護衛も行います。現在は後輩に白バイ・側車の訓練指導を行う立場。基本をしっかりと身につけることの大切さを伝えています。

護衛第一課 機動護衛担当

NO.2



瞬時に判断して的確な指令を出すことが求められます。

通信指令室で無線指令業務に携わっています。勤務員から次々に上がってくる報告を集約して無線通話の交通整理をする役割。状況の変化に対応して的確に指令をするために常に冷静でいることを心掛け、聞き手に伝わりやすい指令内容になるように配慮しています。

警備第二課 通信指導係

NO.3



確かな業務を実現するために体力と精神力を磨いています。

警防として勤務。火災予防と初期消火が私の任務です。火災予防の観点では、巡回や火災発生の危険性がある場所の調査、貯水池や消防設備の点検を実施。万が一、火災が発生した際には、すぐに対応できるように日々の訓練で技能を高めています。

吹上護衛署 警防係

NO.4



新年一般参賀で従事した儀仗勤務は一生忘れられない経験です。

皇居を訪れる人や車両に不審点がないか綿密に確認して皇居の安全を確保する警戒警備の業務を担当。新年一般参賀や国賓をお迎えする際には儀礼服を着て儀仗勤務にあたりました。皇室守護を専門とする皇宮警察の唯一無二の仕事に誇りを感じています。

坂下護衛署 警戒係

NO.5



警察犬との信頼関係を深め技能向上を目指しています。

警察犬担当として、爆発物の探知・検索を行っています。国賓行事や御代替わり関連行事の際には警察犬と共に会場や皇居内に入る車両の確認をしたり、警察犬の存在を見せることで威力警戒を実施。日頃から警察犬の訓練に取り組み、探知の精度を高めています。

警備第二課 爆発物対策係

NO.6



心に残る演奏を通して皇室と国民をつなぎます。

赤坂御用地において御動静時の通行路における護衛勤務や宮邸への来訪者や面会人などの確認を行っています。音楽隊にも所属しており、アルトサックスを担当。演奏デビューが祝賀御列の儀(即位パレード)だったので緊張しました。これからも訓練に力を入れて良い演奏を披露したいです。

赤坂護衛署 警戒係 兼 警務課(音楽隊)

NO.7



やりたいことに挑戦できる。それが皇宮警察の魅力です。

求人募集ポスターに写っていた騎馬の姿に憧れて、皇宮護衛官になることを決意。現在は警戒警備の勤務に加えて拳銃と騎馬それぞれの訓練員として日々訓練に励んでいます。今後、信任状捧呈式で騎馬護衛に従事することが目標です。

赤坂護衛署 警戒係(騎馬指定訓練員)

NO.8



崇高な使命を全うするためにはチームワークが大切です。

これまで護衛第一課機動護衛担当として白バイ・側車での護衛を担当。御代替わりに伴い上皇護衛課に異動し、現在は上皇上皇后両陛下の側近護衛を行っています。仲間と協力しあい、組織・チーム全体で対応して、あらゆる場面での護衛実施の万全に尽力しています。

上皇護衛課 護衛実施担当

Q

都道府県警察との違いは何ですか？

天皇皇后両陛下はじめ皇室の方々の護衛と、皇居や赤坂御用地等の警備を専門に行っています。身分は国家公務員であり、その名称は、「警察官」ではなく「皇宮護衛官」と呼ばれます。都道府県警察とは違い、交通や生活安全部門等はありません。

制服や装備は、都道府県警察とはほぼ同じですが、皇宮護衛官の制服の警笛つりひもは、「ワイン・レッド」色になっています。この色は、皇宮護衛官の赤心(いつわりのない心)を表しています。

Q

転勤はありますか？

定期的に人事異動があり、一つの地域に留まることはできません。勤務地が、東京、栃木、神奈川、静岡、京都、奈良の1都1府4県(4ページ参照)にあるため、転勤することもあります。大多数の職員は東京で勤務しています。

Q

夜間勤務はありますか？

勤務時間は、休憩時間を除き、1週間あたり38時間45分です。職員の勤務制には日勤制勤務と交替制勤務があります。本部勤務の職員(一部を除く)は日勤制勤務、各護衛署において警戒警備に従事する職員は、交替制勤務をしています。交替制勤務では、夜間勤務も行います。

勤務は厳しい面もありますが、休暇制度が充実しており、組織をあげてワークライフバランスの推進に取り組んでいます。

Q

希望の部署に就くことはできますか？

毎年、本人が希望する勤務地・勤務部署を申し出ることができます。ただし、必ずしもすべての職員が希望通りの部署に就けるとは限りません。本人の希望や適性・能力等が考慮され、配属先が決まります。

皇宮警察ってどんなところ？

皇宮警察本部は都道府県警察とどこが違うの？夜間勤務はあるの？

そんな気になる質問にズバッとお答えします。

Q

女性の活躍の場はありますか？

性別に関係なく活躍できる職場です。平成26年には、全国警察の中で初めて女性職員の割合が1割を超え、仕事と育児の両立支援制度を活用している女性職員が増えています。各課、各署で女性が勤務しており、女性の職域が広がり、女性施設の改善も進んだことで定年まで一生涯勤めることができる環境が整っています。

Q

白バイに乗ることはできますか？

大型自動二輪免許を取得することで、訓練に参加することができ、白バイ隊員への道が開けます。白バイ以外にも、音楽隊や乗馬については、初心者でも挑戦することができます。また、テニスやスキーなどの得意分野を活かして皇室の方々をお護りすることもできます。本人の努力次第で、様々な夢が叶えられる職場です。

Q

仕事をしながら進学することはできますか？

進学できます。これまで多くの皇宮護衛官が勤務をしながら都内の大学や通信制大学に通い、教養を高めています。在職中に修士課程を修了した者もいます。ただし、皇宮警察学校入校中は通学することはできません。

Q

職員用の住居はありますか？

勤務地の近くに家族(世帯)用宿舎や独身用宿舎が整備されています。都内だけでなく、京都などの各勤務地にも宿舎があります。また、自宅や借家(アパート等)から通勤している職員も沢山います。

Q & A

待遇



給与

令和2年4月採用者

皇宮護衛官は国家公務員の「公安職俸給表(一)」が適用されます。

初任給 皇宮護衛官採用試験(大卒程度試験)により採用された者
[地域手当]
250,320円(学歴にかかわらず)
※東京都で勤務する場合

皇宮護衛官採用試験(高卒程度試験)により採用された者
208,080円~244,560円(学歴に応じ)

これとは別に、扶養・住居・通勤・ボーナス(年2回)などの各種手当も支給されます。

福利厚生

警察共済組合や警察職員生活協同組合による保険制度が充実しており、提携している各種福利厚生施設を利用することができます。また、警視庁職員信用組合に加入しており、各種の有利なサービスを受けることも可能です。

職員用宿舎

各勤務地の近くには、家族(世帯)用宿舎、独身用宿舎がそれぞれ整備されています。



休暇(利用者の声)

**夏季休暇を利用して同期と海外旅行へ。
多彩な経験を積むことも自己研鑽の一つです。**

夏休みは、夏季休暇(特別休暇)+年次休暇です。私は、週休日と併せて連続7日間の夏休みを取得しました。心身のリフレッシュや自己研鑽を目的に、趣味や旅行を楽しんでいます。夏季休暇を利用して警察学校の同期と一緒に4泊6日でタイのバンコクに行きました。人生初の海外旅行です。安い物価においしいご飯、聞き取れない言語や歴史ある遺跡など、目にするものすべてが新鮮でおもしろかったです。年に1度は旅行に行くという目標もできました。これからも休暇を利用して趣味や資格取得のための勉強に励み、公私共にさまざまな経験を積んでいきたいと思います。



勤務時間・休暇制度

勤務には日勤制勤務と交替制勤務があり、1週間あたりの勤務時間は38時間45分(週休2日制)となっています。休暇は年20日の年次休暇(4月1日採用の場合、採用の年は15日。残日数は20日を限度として翌年に繰り越し)のほか、病気休暇、特別休暇(夏季・結婚・出産・忌引・ボランティアなど)、介護休暇があります。

研修制度

皇宮警察学校を卒業した後、武道の指導者講習をはじめ、海外での語学力、騎馬技能、白バイ技能などの各種研修も行っています。このほか、実務能力を向上させるため、護衛専科、捜査実務専科、情報管理専科などの各種研修制度が整っています。

クラブ活動

テニス、軟式野球、バドミントン、卓球等、10を超えるクラブがあります。休日や勤務時間外を利用して、所属、年齢、上司、後輩などの枠を超えた活動を行っています。心身ともにリフレッシュ!仲間を集め、新たなクラブを立ち上げることも可能です。

仕事と育児の両立支援制度(利用者の声)

皇宮警察本部は、仕事と育児を両立するための支援制度が充実。通勤緩和や産前・産後休暇など出産に関するものや、育児休業、育児短時間勤務、子の看護休暇といった子育てのための支援制度を整備しています。また、出産や育児について相談しやすい環境があり、休業期間終了後の円滑な職場復帰のためのサポートも万全です。

**働きやすい環境づくりと制度の周知で、
職員の仕事と育児の両立を支援していきたい。**

配偶者同行休業を利用中で海外生活を送っている最中に妊娠が分かりました。休業期間を終え、帰国後は出産に備えて産前・産後休暇、育児休業を取得。復職してからは、「子の看護休暇(特別休暇)」と「育児時間(一日2時間)」を利用してしています。その他にも「警察庁シッター制度」を活用。両親が遠方に住んでいて頼る人がいない状況の中で、シッターの存在はありがたいですね。現在は、こういった制度利用を促す立場として勤務。仕事と育児の両立に大変さを感じることはありますが、上司や同僚への感謝の気持ちを忘れず、今後は子育てをする職員が働きやすい環境づくりに取り組んでいきたいです。



**職場の上司や先輩に相談することで
効果的な制度の活用方法が見つかります。**

職場結婚をした妻のキャリアアップのため、育児参加を決意し、私が育児時間(一日2時間)を利用して妻を応援しました。独身のときは、男性が出産・育児支援などの制度を利用するイメージがなかったのですが、実際に子どもができるみると、子育ての大変さを実感。制度活用に抵抗はありませんでした。夫婦間だけで決めるのではなく、職場の上司や先輩に相談することで、私の抱える業務分担の見直しや引継ぎなど、私自身だけでなく職場の仲間にも負担の少ない方法が見つかりました。皇室関連行事で勤務時間外勤務が必要な時も育児に影響の出ない任務の割り振りを考慮していただき、職場の皆さんには感謝しかありません。



研修(派遣者の声)

**語学力の向上だけでなく、所属を超えた
人脈づくりができるこども研修の魅力。**

皇宮警察には色んなジャンルの研修制度があります。私は、約2年間の韓国語の語学研修のため警察大学校に入校して勉強中です。学校内の寮に居住し、放課後も勉強に励んでいます。一緒に学んでいるのは全国から集まった警察官や他官庁の方たち。寝食を共にすることで、所属を超えた絆が深まります。人脈を築くことができるのも語学研修の魅力のひとつです。皇宮警察には、外国人による犯罪・トラブル等に対応するための指定通訳人制度があります。今後は韓国語の指定通訳人として、学んだことを勤務に活かしていきたいです。



キャリアプラン

学歴や性別に関係なく、昇任試験に合格することにより、上位階級への道が開かれています。また、警察庁・他警察本部などへの出向、国内・海外での各種研修等によって、皇宮護衛官としてのキャリアアップを全面的にサポートしています。



皇宮警察ホームページ

皇宮警察本部の情報や試験の日程などを公開しています。

<https://www.npa.go.jp/kougu/index.html>



[試験の詳細・お問い合わせ先]
皇宮警察本部 警務課 人事第二係

電 話 : 03-3217-1516 (採用直通)
Email : kougusaiyou@npa.go.jp
URL : <https://www.npa.go.jp/kougu/index.html>

